

日本人間性心理学会第33回大会「発表論文集」原稿作成要領

発表論文集の原稿は以下の要領で作成して下さい。

1. 原稿送付に際して

原稿はワープロ等で作成し、**5月16日（金）必着**で原稿を電子メールへの添付ファイル（原稿のファイル名は【**発表者氏名・演題**】、PDFにしないでください）として下記アドレスに宛ててご送付ください。

※電子メールでの送付が不可能の方は、簡易書留にて「電子記録媒体」および「A4判ワープロ用紙への印字原稿2部」をお送りください。

※電子メールご送信に際しては、件名に【**第33回大会原稿（発表者〇〇〇〇）**】と、ご記入ください（簡易書留では、電子記録媒体のラベル等に「人間性心理学会第33回大会原稿（発表者〇〇〇〇）」と、ご記入ください）。

送付先（有）新元社 e-mail : jahp33@shingensha.co.jp

住所 : 〒541-0047 大阪市中央区淡路町4-3-6

TEL : 06-6221-2600 FAX : 06-6221-2611

※「大会予約参加費」「論文集掲載費」「本年度までの年会費」が未納の場合や、原稿作成に不備がある場合（見出欠落など）、分量（図表・見出・文献も含めた制限）超過の場合は受理できませんのでご注意ください。原稿の書式は大会ホームページ（<http://www.2014jhpc.jp/>）からダウンロード出来ます（Microsoft Word対応）が、執筆にあたっては下記の文字数（40字詰）に照らして、ご入力ください。

2. 発表論文の体裁と書式

原稿の基本的な書式については『人間性心理学研究』執筆要領（14～23項）に準じます【**機関誌29巻2号、p.190-192参照**】。

※次の三つを必ず添えてご提出下さい（本文の分量には含みません）。

- ① 演題（40文字以内） ② 発表者氏名・所属機関 ③ Keyword（3語）

A. 口頭発表（30分・60分）

原稿（本文・見出・図表、および文献）は次の書式に収めてください——【40字×90行】

B. ポスター発表

原稿（本文・見出・図表、および文献）は次の書式に収めてください——【40字×40行】

- ①本文：科学的学術文献の水準を保ち、研究としてのまとまりを考慮してください。
- ②見出：見出1点を〔48字〕と換算して本文の分量を調整してください。
- 目的・方法・結果・考察などの「中見出」にはI、II、III数字を添え、より下位項目となる「小見出」には1、2、3...数字を添えてください。
- ③図表：掲載スペースは「名刺サイズ」を1単位とし、〔本文300字相当〕と換算して全体の分量を調整してください（各図表には内容を示す説明を添えてください）。

C. 自主企画

原稿に形式上の制約はありません。

倫理的配慮をしたうえで【40字×90行】の書式にまとめてください。

※添付する原稿のファイル名は【**発表者氏名・演題**】としてください。

※書式不備や分量超過の場合、原稿が受理されませんので、ご注意ください。

※提出期日を過ぎますと、原則的に受理されませんので、ご注意ください。

3. 倫理的配慮

原稿および発表に使用する資料は、「人権尊重」「個人情報保護」の観点に十分に配慮して作成してください。以下の本学会ホームページ「年次大会時の倫理ガイドライン」を遵守ください。

①事例等

事例等を使用する場合は、対象者の承諾を得ること。

②対象者に関わる事項

（ア）氏名は、イニシャルではなく、A氏、B氏といった任意のアルファベットを用いること。

（イ）年齢は、「34歳」であれば「30歳代前半」とすること。

（ウ）特定の年月は、「2000年4月」であれば「X年Y月」等とすること。

（エ）その他個人を特定できる内容は、原稿等の内容に影響しない範囲で変更すること。

③調査および共同研究等に係る発表

調査および共同研究等の協力者、関係機関等の承諾を得ること。

④上記の倫理的配慮に関して、大会準備委員会および理事会で検討し、人権尊重・守秘義務への配慮が不足している原稿は発表論文と認めず、修正を求めたり、発表不可とする場合がありますので、予めご承知おきください。

